

クラウド上での基幹システム安定稼働のポイント ～システム停止を前提とした障害対策～

イニシャルコストを抑え、拡張性を持つシステムを構築できるクラウドサービス、企業のバッチ業務や基幹系システム、インターネット関連システムなどのミッションクリティカル分野で利用が促進しています。

一方、クラウドサービスでは大規模障害が発生しており、サービス停止を回避するための対策にこれまで以上に取り組む必要が出てきました。

例えば、こんなお悩みや課題はありませんか？

- コストをかけずに、オンプレミスのシステムをそのままクラウドに移行したい
- 障害対策としてクラウドサービスのHA機能(自動復旧機能)で十分なのか分からない
- クラウド特有のネットワークやディスクを使用して、従来ソフトウェアで障害対策できるか不安

本セミナーでは、24時間365日の安定稼働が求められるクラウドでのシステムにおいて、万が一の障害時でもサービスを継続するしくみを実際の業務を例に挙げながらお伝えします。

※内容は都合により変更になる可能性があります。予めご了承ください。

■ ご紹介内容

本セミナーでは、ジョブ管理ソフトウェアを導入したシステムを例に、HAクラスタリングソフトウェアでミッションクリティカルシステムをトータルで監視し、サービス停止時間を最小化するためのポイントをお伝えします。そして、パブリッククラウドで複数のアベイラビリティゾーンに配置したHAクラスタシステムで疑似故障を発生させ、バッチ業務が継続できる様子を実際の画面を用いてデモンストレーションいたします。また、クラウド特有のリソースを使用して、IaaSで柔軟に設計したシステムの障害対策の勘所をお伝えします。

■ こんな方にお勧めです

オンプレミスのミッションクリティカルな業務をIaaSで柔軟に設計し、安定稼働させたい方

アプリケーションやミドルウェアの障害発生時にもサービスを継続提供したい方

■ 開催概要

- 日時 : 2021年 7月15日 (木) 13:00～14:00 (60分)
- 場所 : 自席 (Webセミナー)
- 受講料 : 無料 (事前登録制)

<お申込方法>

下記のURLよりお申込みをお願い致します。

<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/45899>



お問い合わせ

富士通株式会社 ソフトウェアプロダクト事業本部 ソフトウェアビジネス推進部 (ソフトウェアセミナー事務局)

E-mail : contact-mwsemi@cs.jp.fujitsu.com